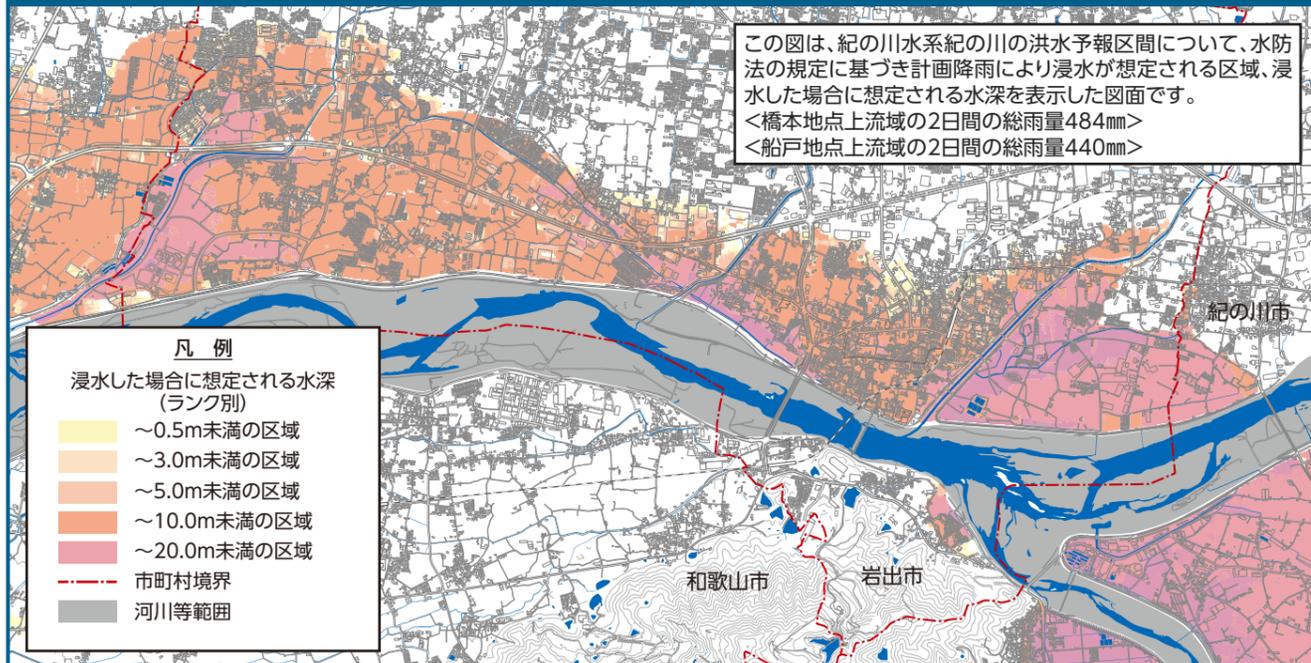




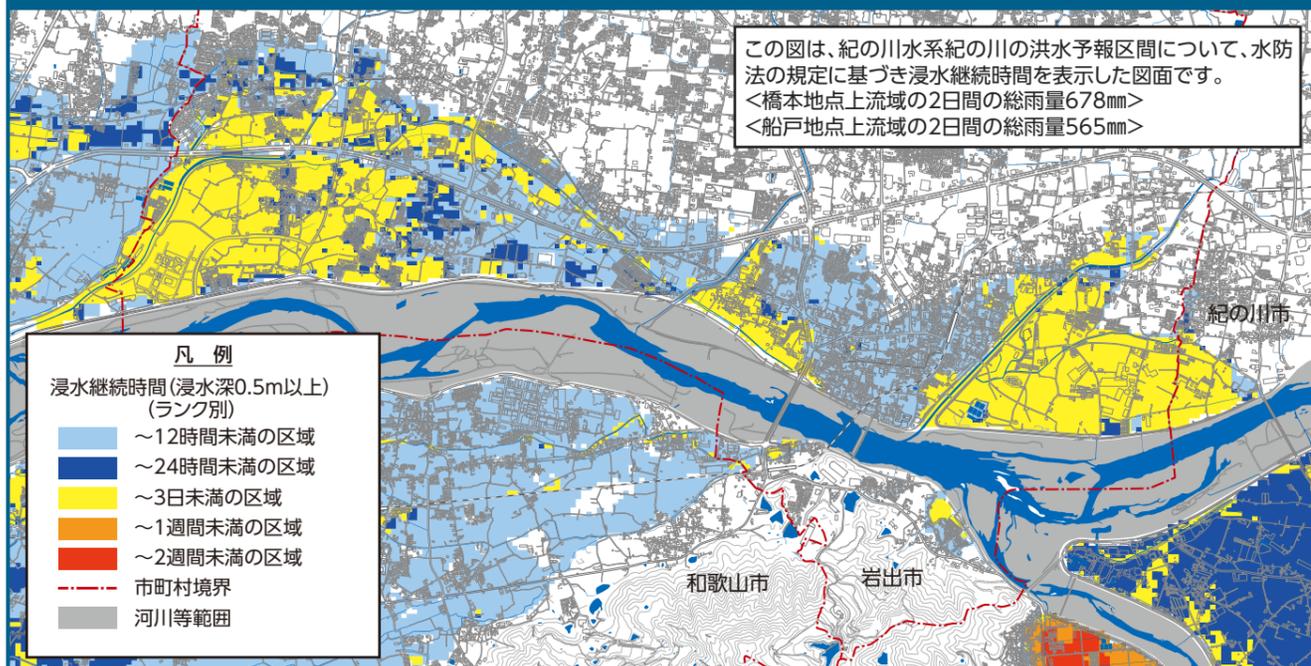
紀の川水系 洪水浸水想定区域図

平成27年の水防法改正を踏まえ、これまで公表していましたが紀の川水系の洪水浸水想定区域が平成28年6月に見直されています。この公表では、想定最大規模雨量により浸水が想定される区域と深さに加え、家屋倒壊等をもたらすような氾濫流や河岸侵食の発生が想定される区域を示した家屋倒壊等氾濫想定区域も公表されています。(家屋倒壊等氾濫想定区域については、岩出市内マップに示していますので、「早期に立退きが必要な区域」として確認してください。)

計画規模



浸水継続時間



警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルについて 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報 大雨特別警報(土砂災害)
<警戒レベル4までに必ず避難!>					
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4相当	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	2相当	氾濫注意情報 ——
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	—— ——

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

警戒レベル5 はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3高齢者等避難 や **警戒レベル4避難指示** で、

住民の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

